

靴

実 願 昭 39-99904
出 願 日 昭 39.12.23
考 案 者 出願人に同じ
出 願 人 小松巖
大阪市生野区東桃谷町1の5807
代 理 人 弁理士 鎌田嘉之

図面の簡単な説明

第1図は本案品の底面図、第2図は要部縦断面図、第3図はキヤスター部の分解斜面図である。

考案の詳細な説明

本考案は主体Aの底板1に主体A内へ収納自在に枢着したキヤスターa……を有する固定板11を取付けた特に大型の靴に係るものである。

本考案の実施例を図面により説明すれば1は靴主体Aの底板で、この底板にキヤスターa……を主体A内へ収納自在に枢着したもので、底板1の所要個所に適当大きさの切欠部2……を穿設し、その内部にコ字状凹部4を有し、その両端に外向平坦縁5,5を有する内設固定板3を固着具6に依り取付け、この固定板3……によりキヤスターaを内挿するも靴本体内の収容物には何ら支障を来す事なく、又一方底板1の外側には内設固定板3の各外向平坦縁5,5と対応して切欠部2の開口端に臨む位置に両辺部を切欠き中部のみに折巻部8を有する固定板7と、両端部の両辺部を切欠き中部のみに折巻部10,10を有する固定板9とを共に底板1の外側に固定具6により取付けている。

而して各固定板7,9の切欠部2の開口端に臨む折巻部8,10の両辺部切欠きに対応して、両辺部に折巻部8,10を設け、軸12により回動自在とした輪

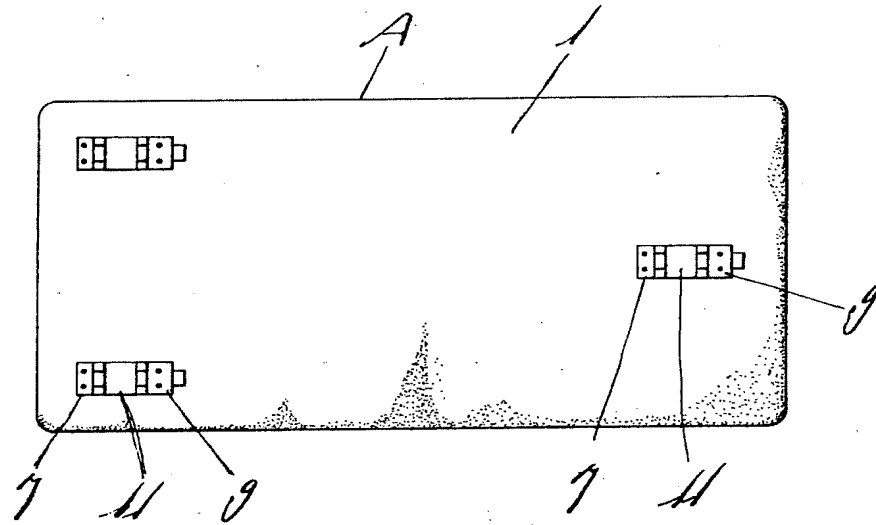
13を有するキヤスターaを固着したキヤスター固定板11をピン14,14に依り、その折巻部8,10を固定板7,9の折巻部8,10と共に固定して第2図実線に示す如く、靴本体Aの底板1内に固定する。靴本体A内に重量物を収容したような時には第2図点線で示す如くキヤスター固定板11と固定板7との折巻部8,8のピン14を外し、キヤスター固定板11の折巻部10のピン14を中心として回動せしめてキヤスター固定板11を固定板9上に重ね、而してその折巻部8を固定板9の他端折巻部10と共にピン14により止着して第2図点線位置にキヤスターaを固定せしめて靴本体Aの底板1には適当数のキヤスターa……が固定され容易に運搬可能としたものであり、本体A内に重量大なる物を収容した場合の取扱を極めて容易としたものである。尚キヤスターa……の内、前部の一つを自在キヤスターとし他のものを固定キヤスターとするも、又総て自在キヤスターとするも任意である。

かくの如く本案靴は持運び可能とすると共に重量物収容時にはキヤスター固定板11の折巻部10を中心としてキヤスターaを本体Aの底板1外に固定せしめて輪13……により靴の運搬を便とする利点を有し実用上極めて優れている。

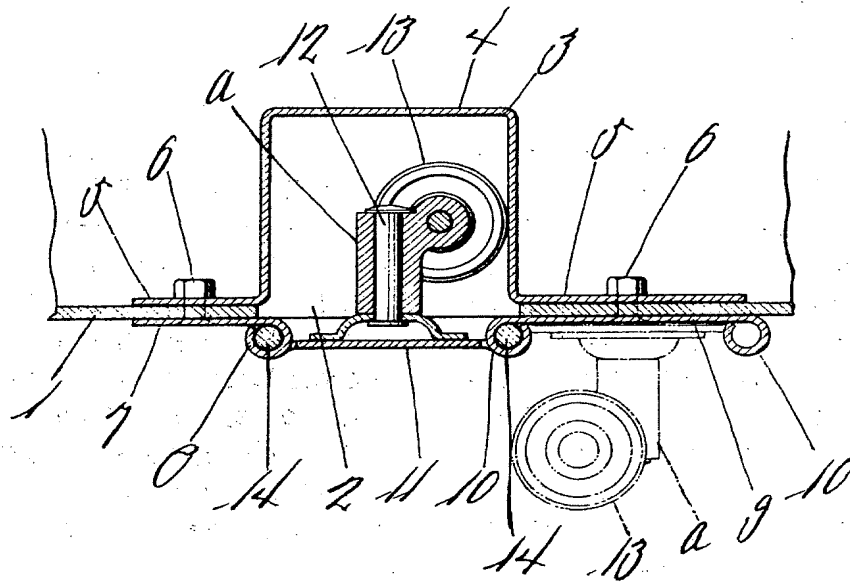
実用新案登録請求の範囲

主体Aの底板1に適当数の切欠部3……を穿設しその内部にコ字状凹部4を有し両端に外向平坦縁5,5を有する内設固定板3……を固定し、底板1の外側には内設固定板3……の各外向平坦縁5,5と対応して折巻部8を有する固定板7と、折巻部10,10を有する固定板9とを固定し、底板1の内外に収納固定自在とし、輪13を有するキヤスターaを固着せるキヤスター固定板の両端折巻部8,10をピン14,14により切欠部2へ固着せしめた靴。

第 1 図



第 2 図



第 3 図

